

国土交通省 公共工事において試行的に活用する技術について

理研興業の高性能防雪柵（誘導板付忍び返し柵）

道内初！建設分野における画期的な技術として選定

防雪柵メーカー、理研興業(小樽・柴尾耕二社長)の製品「高性能防雪柵(説明会に於けるものとおなじ)」がござり、今後ますます新技術開発のほど、国土交通省の「公共工事における活用技術」に選定された。十六年五月一日付の「技術規範」に於ける「防雪柵」の取組を促進させたい旨、以上と申述べてござる。

度は全国から百五十技術
の応募があり、公共工事技
術活用評価委員会で審査さ
れ、国交省の「公共工事に付
いて活用する技術」は、公
共事業に関連した民間分野

「回遊性」これが高性能の
柵(スクリーン)は、道路の吹き溜まり

道路・高規格道路に対応できる画期的な製品一写真

二十一

題曲を贈
を連絡して呪
降せぬことが

理研興業の高性能防雪柵（誘導柱）
国土交通省 公共工事において試行実験
道内初／建設分野における
防雪柵メーカー、理研興業 員会にて高性能防雪柵をす
業株（小樽 柴屋耕三社長） ばらしい技術と評価された
の製品「高性能防雪柵（誘導柱）」がここに、今後ますます新技術開
発のほど、国土交通省の公共工事において活用する技
術に選定された。十六年
△

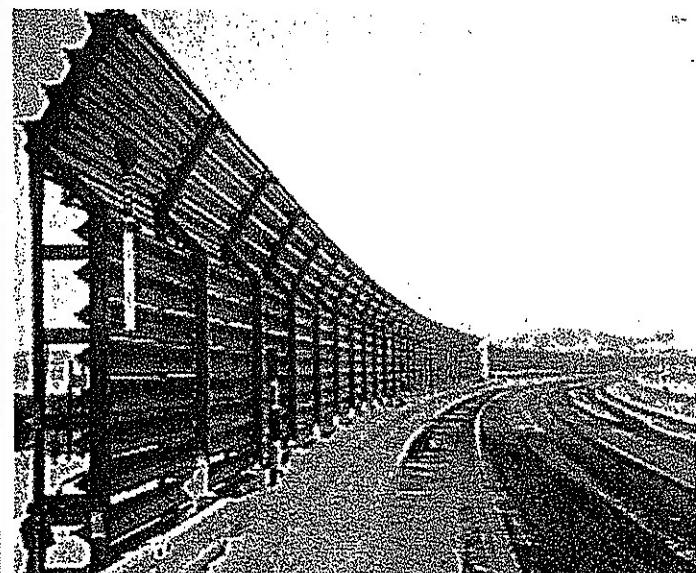
付録ひ返し欄)

に活用する技術

緩和を図ることを目的とした防雪施設であり、従来型の防雪柵だけでは防雪効果の発揮が難しい過酷な気象条件・地形条件下において、高い防雪機能を発揮させるため田舎として、同社が北海道工業大学の白濱芳朗教授と共同開発したもの。

じの樋は、風上側からの飛雪効果は、従来の樋に比べても高く、また、忍び返し部を抜けて誘導板に沿う流れによって、樋上端に発生する離陸渦が抑制されるため、樋直後の下降流が発生しない。雪の堆積はめどとならないため、樋を道路端に近接せんとしたが、可能になつた。田地貢収の困難な場所や予算の制約のため、未使用時に新開発のリンク機構によ

A dark, grainy image showing a bright, horizontal streak at the bottom, likely a film strip edge.



既に国土交通省管内に4846m設置
道内外総延長7122mの実績

新開発のリンク機構による運動昇降

持管理性も優れています。同
社景観にも配慮しており、
すでに国交省の新技術情報
提供システム（ニエフテー
ス）にも登録されています。
各官公署からも注目されて
いる。

また、同社と建立林業試
験場が共同で研究開発した
「木製高性能防雪柵」（方
ラマシ）間伐材を防雪板に使
用）も農水省の研究高度化
事業に採択されるなど、同
社の製品群は各方面で高い
評価を得ています。

これが専業メーカーである
我々の使命。今回、当社の
高性能防雪柵が国交省に認
定されたことは、新技術開
発が高く評価された証であ
り、今後も新しい製品の
性能向上を図ることで、
い」と話していました。
詳細問い合わせは、同社
(小樽市鏡園三丁目一六三
番地七、電話〇一三四一六二
〇〇〇三三三 FAX62
〇〇六八) おど。